

まちづくり

高齢者や障害者の方々が不便を感じない「福祉のまちづくり」を進めています。

福祉のまちづくり

岐阜県でも福祉対策が徐々に確立され喜んでいます。生活の質の向上は、家族とともに生きられる事は何よりです。しかし福祉施設等までの道のりが大変。本人はもとより、介護者への援助を細かい所まで。

(H7年 岐阜市 40代 女性)

福祉の住まいづくり

サニハイツ花かいらどうモビル住宅の展示(7~8年度、岐阜市)など福祉住宅の整備を推進

・**岐阜県北方住宅南ブロック建設工事の完成**(12年3月)、公営住宅福祉対応リフォームの推進

・高齢者・障害者の住宅整備資金貸付、いきいき住宅改善助成等

県有施設52施設の高齢者や障害者など使用者に対するサービスの状況を再点検公表

(11年8月)

・皆さんからのご意見にもつき対応した施設 9施設

・自己点検により対応した施設 21施設

県民の声

県施設関係に車椅子の導入や段差解消への配慮がなされ高齢者や障害者の参加利用が増加してきた

(巣南町 60代 女性)

「岐阜福祉のまちづくり」

策定(7年6月)のほか、「岐阜県福祉のまちづくり条例」を施行

(10年4月)

・岐阜県福祉のまちづくり県民会議の設立及びモニターの委嘱(100名) (10年9月)

・福祉のまちづくり施設整備マニュアルの策定 (11年1月)

福祉施設へのアクセス道路等を整備するための福祉道路特別対策事業を創設 (8年度)

・5年間で計5万所の整備に着手し、施設等へのアクセスが大幅に改善

教育 生涯学習

児童、生徒の能力・適性・興味・関心などに応じた個性・能力を伸ばす学校教育、生涯学習社会の環境づくりを進めています。

個性・能力を伸ばす学校教育に向けて教育改革を推進

県民の声

総合学科に入学する事が出来れば自分に興味のあるものを見つけ出し、適性と将来進むべき方向を探し出せるのではないかと思います。自分の興味に沿った勉強が出来れば、明るく楽しい高校生活を送れるのではないかと思います。

(H6年 穂積町 40代 女性)

単位制の導入

単位制普通科の設置 (2校)

・各務原西高校・華陽高校(8年4月)

・全ての県立定時制・通信制高等

情報教育の推進

校内LANの整備、学校間のネットワーキング、教育用コンテンツの開発、教員の情報研修の充実など、「21世紀岐阜県型情報教育推進プロジェクト」を推進

(6年度)

高等学校の学科改編

情報系・国際系・福祉系など28校で46学科5コースが設置

岐阜総合学園高校、郡上高校、土岐紅陵高校、飛騨神岡高校

(9年4月)

フロンティアプラン「教育」

研究会から、岐阜県教育委員会に「教育」に関する提言

(10年3月)

開かれた学校に向け、県立の高等学校と特殊教育諸学校8校に「学校評議員」と「学校改革目安箱」を全国に先駆けて設置

(11年10月)

体系的総合的な教職員研修教育研究を行い、園児児童生徒の個性の伸長等への支援、各教科や情報教育をはじめとする教育指導の学校支援を行う「総合教育センター」を充実

(12年4月)

幼・小・中の学校が一体となつて地域ぐるみで取り組む個性化教育実践推進事業(7年度)をはじめ個性を伸ばす小中学校教育を推進

私立学校・幼稚園への助成を強化(生徒等一人当たり年間助成額、元年度 11年度)

・高等学校 169,000円

・300,900円

・小中学校 161,700円

・270,500円

・幼稚園 70,500円

・153,100円

県民の声

学校評議員や学校改革目安箱を全国に先駆けて設置したのは教育界として誇れることだと思う

(岐阜市 50代 女性)

私立学校への助成金が伸びていることは本当に助かります。今度幼稚園に入れようと思っておりますので助かります (穂積町 20代 女性)

高等教育機関の充実

映像情報技術者の育成を目指す県立の人材育成機関を大垣市に設置してほしい。後々は、マサチューセッツなどの様に生活と学校が密接に関係する人間性豊かな産業都市に

(H5年 大垣市 20代 女性)

国際情報科学芸術アカデミー(8年4月、大垣市)に引き続き、13年度には情報科学芸術大学院大学の開学を予定

情報科学芸術大学院大学の概要

【課程】修士課程2年

【編成】

1 研究科(メディア表現研究科)

1 専攻(メディア表現専攻)

【定員】1学年20名

国際ネットワーク大学構想

(コンソーシアム共同授業11年5月スタート)

・**立山看護大学**(12年4月開学、羽島市)

・**立山森林文化アカデミー**

(13年度開校予定、美濃市)

【履修期間】2年

【編成】森と木のクリエーター科

森と木のエンジニア科

【定員】各20名

名城大学都市情報学部(定員2000人、7年4月、可児市)

岐阜大学地域科学部(同1000人、8年10月)、岐阜聖徳学園大学大学院国際文化研究科(同25人、10年4月)、岐阜女子大学観光文化学科(同1000人、11年4月)等の開設

生涯学習の環境づくり

生きがいづくりの生涯学習をめざして、拠点施設の整備や情報提供などの環境を整備

・**放送大学eラーニングセンター**(3年10月、岐阜市)

・**岐阜県生涯学習センター**(6年4月、岐阜市)オープン

・生涯学習センター、図書館等をネットワークした生涯学習情報提供システムを稼働(7年7月)

生涯学習や書誌情報を提供

県民の声

文化講座、消費生活講座など、図書館やふれあい会館でいろいろ講座を受けることができ楽しく生活できます

(岐阜市 60代 女性)

自然教室の実施状況

H11年度実績

5町村(14小中学校)

・岐阜県ボランテアセンターを設置(6年4月、岐阜市)

・ボランテア相談電話の開設

H11年度電話相談実績

197件

・地域ボランテアネットワーク(在宅要介護者等の支援体制づくり)を推進(7年度)

・県単独でボランテア協力校を指定し学校でのボランテア活動を推進(8年度)

・ぎふNPO懇話会の設置、岐阜県特定非営利活動促進法施行条例を施行

(10年12月)

・ボランテア・市民活動がしやすい環境づくりを推進

(10年度)

文化 スポーツ

新たな文化づくり、伝統文化の保存活用による魅力ある文化環境づくりやイベント施設整備等の環境整備を進めています。

県民の声

現在の県立図書館は老朽化して狭く、日曜は閉館ということで、利用者にとっては極めて不都合な状態である。少しでも市街から離れた位置でも構わないから駐車スペースのゆとりたりとれる、県を代表する図書館の建設を望む。

(H元年 岐阜市 30代 男性)

魅力ある文化環境づくり

・**県民ふれあい会館サランカホール**のオープン(6年4月、岐阜市)をはじめ文化拠点施設の整備

・**県民文化ホール未来会館**(6年11月、岐阜市)

・**県博物館マイ・ミュージアム**(7年7月、関市)

・**県図書館・世界分布図センター**(7年7月、岐阜市)

・**県美術館ハイビジョンコンテンツの遠隔鑑賞システム「マルチメディア・モデル美術館」**の構築を推進

(10年度)

H11年度実績

・岐阜県ボランテアセンターを設置(6年4月、岐阜市)

・ボランテア相談電話の開設

H11年度電話相談実績

197件

・地域ボランテアネットワーク(在宅要介護者等の支援体制づくり)を推進(7年度)

・県単独でボランテア協力校を指定し学校でのボランテア活動を推進(8年度)

・ぎふNPO懇話会の設置、岐阜県特定非営利活動促進法施行条例を施行

(10年12月)

・ボランテア・市民活動がしやすい環境づくりを推進

(10年度)

・市町村社会福祉協議会登録ボランテア数が昭和63年度の約3倍に

登録者数

(S63年度 H11年度)

28,197人

81,798人(2.9倍)

県民の声

「心の教室相談員」の制度は期待できます。高岡町 20代 女性

課外授業の実施で地域や社会との関わりが増えてきた。広い視野社会性を学びながら、将来自らボランテア的な行動ができることを期待したい

(多治見市 50代 女性)

文化 スポーツ

新たな文化づくり、伝統文化の保存活用による魅力ある文化環境づくりやイベント施設整備等の環境整備を進めています。

県民の声

現在の県立図書館は老朽化して狭く、日曜は閉館ということで、利用者にとっては極めて不都合な状態である。少しでも市街から離れた位置でも構わないから駐車スペースのゆとりたりとれる、県を代表する図書館の建設を望む。

(H元年 岐阜市 30代 男性)

魅力ある文化環境づくり

・**県民ふれあい会館サランカホール**のオープン(6年4月、岐阜市)をはじめ文化拠点施設の整備

・**県民文化ホール未来会館**(6年11月、岐阜市)

・**県博物館マイ・ミュージアム**(7年7月、関市)

・**県図書館・世界分布図センター**(7年7月、岐阜市)

・**県美術館ハイビジョンコンテンツの遠隔鑑賞システム「マルチメディア・モデル美術館」**の構築を推進

(10年度)

・「世界文化村きふ」開村(10年11月、岐阜市)

・歌舞伎ホールを備える東濃東部の文化イベント拠点「東濃ふれあいセンター」の整備を支援

(12年5月開館、中津川市)

・岐阜県の文化振興に関する懇話会を実施し、文化振興提言案を作成

(財)岐阜県地域活性化センター(財)岐阜県産業文化振興事業団、7年4月、地域文化研究所を設置

岐阜県文化祭の開催(7年度)

等文化イベントを展開

・**日本モーター音楽コンクール本選**(8年3月)、第1回日本モーター音楽大賞選考演奏会(10年6月)

・**ぎふ世界の一流ふれあいシリーズ**(2年7月)

11年度までに30回開催

県民ふれあい会館の整備・利用状況

	H6	H7	H8	H9	H10	H11
会議室(稼働率%)	59.0	66.7	72.5	79.0	79.7	80.4
サランカ	公演回数	109	121	132	141	135
	入場者数	57,812	56,853	55,486	60,226	60,610

岐阜県図書館が交通の便の良い所にきて利用しやすくなった

ふれあい会館まで無料のシャトルバスが出ているのがとてもいい。また、サランカホールは非常に音が素晴らしい

(美山町 10代 女性)



県民ふれあい会館 サランカホール

県博物館マイ・ミュージアムの利用状況(H11年度)

マイ・ミュージアム棟観入館者数 84,833人(1日平均 274人)

マイミュージアムギャラリー総観覧者数 76,013人(1日平均 292人)

県図書館の利用状況(H11年度)

開館日数 284日

開架閲覧入室者数 836,815人(1日平均 2,947人)

個人貸出人数 236,754人(1日平均 834人)

個人貸出冊数 1,043,276冊(1日平均 3,674冊)

分布図センターの利用状況(H11年度)

入室者数 115,390人(1日平均406人)

県美術館の利用状況

平成11年度の観覧者数 100,414人

昭和57年の開館以来、毎年10万人前後の観覧者(累計2,095,675人)

単位制普通科高等学校、総合学科の人気度

・平成12年4月の新入生へのアンケート結果から、単位制普通科、総合学科への入学生は、主体的に学校選びをしている生徒が多いことから人気も高いと考えられる。

(問)あなたは最初から本校の受験を考えていましたか(%)

	はい	いいえ	無回答
普通科	56.6	43.0	0.4
単位制普通科	73.8	26.2	0
専門学科	69.4	30.5	0.1
総合学科	70.3	20.3	9.4
全体	60.9	38.5	0.6

総合学科卒業生の進路

・総合学科においては、四年制大学、短期大学、専修学校等への進学割合が増加するなど、進路希望が多様化している。

進路状況の推移(%)

	四年制大	短期大	専修学校等	就職	その他	合計
H10(改編前)	8	12	23	51	6	100
H11(総合学科)	15	15	31	33	6	100

新文化の創造や伝統文化の保存

村おこし・町おこしには、その地域に根ざした文化こそ、人々の心に感銘を与えるものである。よって地域の文化的郷土芸能や農村芸能の掘りおこしや、現代風アレンジ等への支援を。

武将であり茶人であった古田織部にちなみ、自由奔放、革新など「オリベイズム」を推進する「オリベプロジェクト」を展開

「オリベイズム産業文化振興委員会」を設立 (8年9月)
・「第1回織部賞」 (9年2月)
・「第2回織部賞」 (11年5月)
・「オリベイズムの普及」

認定(婦人服、ひのき畳、照明器具、メゾカジュアル)
「架空大賞」を制定し、立体造形、絵画、映像等の分野で業績が顕著な方を顕彰(11年度)
マンガで見る日本まん真ん中おもしろ人物史を発売

・第1巻 古田織部(10年6月)
・第2巻 田宮(11年3月)
・第3巻 花子(12年3月)

(財)岐阜県文化財保護センターを開設

白川郷・五箇山の合掌造り集落が世界文化遺産に登録 (7年12月)

・(財)世界遺産白川郷合掌造り保存財団設立 (9年3月)
岐阜県まると芸術広場構想の推進に向け「岐阜県21世紀ふるさとづくり芸術賞」を創設 (6年度)

・まちかど美術館・博物館の普及推進 (3年度)、78施設)
山村地域で育まれた伝統文化をテーマに「緑の伝統文化大学」を開催

・地歌舞伎7年10月(加子母村)
・和紙8年6月(美濃市・河合村)
・伝統食 (9年10月、清見村)

県民の声

昨年の織部賞の授賞式はとてすばらしく、岐阜県を誇りに思った (各務原市 40代 女性)
白川郷が世界文化遺産に登録された大変よかった (岐阜市 60代 男性)

スポーツの振興

スボツ王国岐阜づくりとして競技力の向上を望む。施設の充実、精神面の強化指導者の育成等の環境が構築出来たらよいと思います。

・(H元年) 可児市 40代 女性
県民のスポーツへの参加機会の拡大と競技力の向上を推進
「シドニー五輪における本県出身選手による獲得メダル数 金1個、銀2個、銅1個」

・長良川スポーツプラザ (5年7月、岐阜市)、スポーツ科学トレーニングセンター (5年10月) がオープン
・養老バクゴルフ場 (2年7月、養老町)をはじめ県内各地域に新たなスポーツ施設がオープン

・スキジャンプ台 (6年8月、朝日村)
・ラグビー場 (7年11月、古川町)
・大垣市武道館 (10年6月)
・飛騨高山ビッグアリーナ (12年4月、高山市)
・岐阜県グリーンスタジアム (12年7月、各務原市)
・岐阜マリンスポーツセンター (12年7月、三重県河芸町)

県民の声

年12月、上宝村)が開通し、長野県・関東方面と直結したのをはじめ、油坂トンネル(11年4月、白鳥町)、白鳥西IC(白鳥IC(11年11月)間が開通

・東海環状自動車道では、中部国際空港や国際博覧会場と県内各地を結ぶアクセス道路としての期待を担いつつ、土岐JCT付近及び高加関IC付近で工事に着手(8年11月、西回りルート)養老間の整備計画決定(9年2月)、養老北勢間の新規着工準備(10年度)

平成6年12月に、8路線が指定。また10年6月には2路線が追加

地域高規格道路

地域高規格道路の指定
(計画路線 6路線 310km)
濃飛横断自動車道
岐阜南部横断ハイウェイ

(候補路線 4路線)
美濃加茂下呂連絡道路
岐阜環状道路

中部縦貫自動車道・安房トンネルの開通

飛騨から長野は安房峠等の険しい峠で結ばれており、冬期になると閉ざされ、冬期でなくとも通行困難である。そこでバイパスを建設すれば、長野との交流も活発になり飛騨が栄え、関東方面からのお客様が増え県全体も活気づくだろう。(H元年 各務原市 20代)

新高速三道の整備促進
・東海北陸自動車道では、名神一宮JCTとの連結(10年12月)により、中京・関西圏と

軽スポーツ研修センターの開設

設(6年4月)など軽スポーツを普及
・「いきいき軽スポーツ21ぎふ」発行(5年3月)、軽スポーツ広場等の長良公園を開園 (5年4月、岐阜市)

・「第1回岐阜県スポーツレクリエーション祭」をメモリアルヒルズ他で開催 (3年9月)
・「岐阜県シルバー・スポーツフェア(岐阜県健康福祉祭)」を開催 (3年10月)
参加者数 3,500人(12年5月)

・全国高等学校総合体育大会の開催 (12年8月)
選手以外の県内高校生も、「一人一役運動」として大会に参加準備・運営をサポート
・第9回全国的障害者スポーツ大会(ゆづあいピック岐阜大会)の開催 (12年10月)

・「いきいき軽スポーツ21ぎふ」発行(5年3月)、軽スポーツ広場等の長良公園を開園 (5年4月、岐阜市)

県民の声

参加選手・役員 4,313人
応募による県民ボランティア 約7,000人
「岐阜県スポーツ栄誉賞」創設 (2年3月)

・「第1回岐阜県スポーツレクリエーション祭」をメモリアルヒルズ他で開催 (3年9月)
・「岐阜県シルバー・スポーツフェア(岐阜県健康福祉祭)」を開催 (3年10月)
参加者数 3,500人(12年5月)

・全国高等学校総合体育大会の開催 (12年8月)
選手以外の県内高校生も、「一人一役運動」として大会に参加準備・運営をサポート
・第9回全国的障害者スポーツ大会(ゆづあいピック岐阜大会)の開催 (12年10月)

県民の声

東海北陸自動車道の庄川ICの開通に際し、かつては名古屋まで4時間近くかかっていたのが3時間弱で行けるようになった

(高山市 30代 女性)
安房トンネルや庄川ICの開通で、奥飛騨の高校生の部活動範囲が広がった。岐阜県中心部や長野、新潟も足を伸ばすことが可能になった (神岡町 40代 男性)

加指定され計10路線で整備や調査を推進

・東海環状自動車道では、中部国際空港や国際博覧会場と県内各地を結ぶアクセス道路としての期待を担いつつ、土岐JCT付近及び高加関IC付近で工事に着手(8年11月、西回りルート)養老間の整備計画決定(9年2月)、養老北勢間の新規着工準備(10年度)

平成6年12月に、8路線が指定。また10年6月には2路線が追加

安房トンネル効果

・高山市-東京(安房峠経由) 距離308km 299km 所要時間5:40 4:40
・安房峠道路の時間距離の短縮 距離15.6km 5.6km 所要時間30分 5分

・開通後1年で129万台の車が利用(当初計画の約1.3倍)
・供用後1年間の効果(東海総合研究所調査H10年12月試算)
飛騨地域における経済効果 観光消費額165億円増大 民間投資額251億円

飛騨地域における観光客・宿泊客・観光消費額の増加

Table with columns: 観光客, 宿泊客, 観光消費額, H9, H10, 増減, 増減率

油坂トンネル効果

・白鳥IC-油坂峠 所要時間29分 10分
・冬期通行不能区間の解消

グローバル・ヴィレッジの構築

海外直結戦略の推進
県では、「海外直結戦略」として県境・国境にとらわれないことなく、世界のトチ・モノ・カネ・ヒト・情報の5つの資源を活用して、海外の国、地域、大学、研究機関等と直接交流・連携を進めることで、地場産業の振興、新産業おこし、文化・芸術の振興などを進め、県経済の活性化や、県民生活の向上につなげてきました。

これまでに築いてきたコンピュータ・情報通信分野のネットワークを「グローバル・デジタル・ファミリー」、それ以外のデザイン、音楽、農業などの分野のネットワークを「グローバル・ヒューマン・ファミリー」と呼んでいます。
県では、これらのネットワークをさらに統合・強化し、国と国との垣根を越えた一つの共同体である「グローバル・ヴィレッジ」を築き、本県の発展はもちろん、世界に貢献することを目指しています。

Table with columns: 面積(1996年), 人口, GNP, 一人あたりGNP, 国連加盟国中の順位

海外直結戦略の主な成果

Table with columns: 相手国, 提携機関(提携分野), 相手国, 提携機関(提携分野)

日々の生活を支える道づくり

山に囲まれた狭隘な山村は、山が障害となり孤立することが多く、若者の定住を阻む原因になっている。トンネルは遠距離までの通勤を可能にし、若者の流出を防ぎ、過疎化に歯止めをかけ、山村に活力を与えるなど夢の交流を現実のものにする画期的な方法である。

(H9年 谷汲村 70代 男性)
国道・県道・林道等による生活道路の体的整備を推進
・国道・県道等の整備推進
・県費投資額(H元年 9年) 81.2億円 1,171億円 (1.4倍)

・農道・林道の整備推進 (S63.4 H11.4)
広域農道 農免農道、ふるさと農道、一般農道の事業延長 454km 603km
広域基幹林道など林道・3倍(巾4m以上)の供用延長 1,460km 2,072km (1.4倍)

・馬坂トンネル(9年11月、高富・美山町)をはじめとして、本県の提言により新たに制度化された交流ふれあいトンネルが開通
平成5年度より「道の駅」の整備を進めており、これまでに24か所を整備

県民の声

国道21号線岐南インター周辺が整備され交通がスムーズになった (岐阜市 30代 女性)
道路が整備され、バスで1時間かかっていたのが35分、40分で揖斐川町へ出れるようになった (坂内村 60代 女性)
道の駅に立ち寄ると、その地域の産業が手に取るようにわかる。地域が活性化されてよい (池田町 50代 女性)

・JR岐阜駅周辺鉄道高架事業が完了 (11年度)
・踏切の解消により、南北交通の円滑化が確保され、飛騨的に交通量が増加
・JR線交通量調査 (S0年調査)
交通量(台/日) 156,431
踏切で1053時間/日
(H9年調査)
交通量(台/日) 239,686 (53.2%増)

・中部国際空港(株)の設立(10年4月)
5月、公有水面埋立て及び飛行場設置の手續(11年8月)
・中部国際空港連絡鉄道(株)の設立 (11年6月)
・中部国際空港の着工(12年8月)

県民の声

「道の駅」の整備状況

Table with columns: 道の駅名, 整備年度

明宝(明宝村) H5.4
花街道付知(付知町) H5.4
パスカル清見(清見村) H5.4
美濃白川(白川町) H5.4
美並(美並村) H5.12
白鳥(白鳥町) H6.3
ラステンぼろ(洞戸村) H7.3
奥飛騨温泉上宝(上宝村) H7.3
平成(武儀町) H8.4
白川郷(白川村) H8.4
星のふる里ふじはし(藤橋村) H8.6
ロックガ・デンヒチそう(七宗町) H9.4
飛騨金山ぬく森の温泉(金山町) H9.4
上矢作ラ・フォーレ福寿の里(上矢作町) H9.4
アルプ飛騨古川(古川町) H10.3
南飛騨小坂(小坂町) H10.6
土岐美濃焼街道(土岐市) H10.7
モンデウス飛騨谷山(宮村) H10.11
夢さんさん谷汲(谷汲村) H11.3
クレール平田(平田町) H12.1
きりら坂下(坂下町) H12.3
富有柿の里いとぬき(糸貫町) H12.4
ななもり清見(清見村) H12.5
馬瀬美輝の里(馬瀬村) H12.

県民の声

JRの高架で交通がスムーズになった(笠松町 30代 男性)
・JR中央新幹線
・走行試験の開始(9年4月)
・整備手法等に関する研究会の設置 (10年11月)

・中部国際空港が第一種空港として2005年3月開港に向けて2005年3月開港に向けて新規事業化 (10年度)
・岐阜県2005年日本国際博覧会・中部国際空港関連公共施設整備推進協議会の設置

・中部国際空港(株)の設立(10年4月)
5月、公有水面埋立て及び飛行場設置の手續(11年8月)
・中部国際空港連絡鉄道(株)の設立 (11年6月)
・中部国際空港の着工(12年8月)

・JR線交通量調査 (S0年調査)
交通量(台/日) 156,431
踏切で1053時間/日
(H9年調査)
交通量(台/日) 239,686 (53.2%増)

県民の声

「道の駅」の整備状況

Table with columns: 道の駅名, 整備年度

明宝(明宝村) H5.4
花街道付知(付知町) H5.4
パスカル清見(清見村) H5.4
美濃白川(白川町) H5.4
美並(美並村) H5.12
白鳥(白鳥町) H6.3
ラステンぼろ(洞戸村) H7.3
奥飛騨温泉上宝(上宝村) H7.3
平成(武儀町) H8.4
白川郷(白川村) H8.4
星のふる里ふじはし(藤橋村) H8.6
ロックガ・デンヒチそう(七宗町) H9.4
飛騨金山ぬく森の温泉(金山町) H9.4
上矢作ラ・フォーレ福寿の里(上矢作町) H9.4
アルプ飛騨古川(古川町) H10.3
南飛騨小坂(小坂町) H10.6
土岐美濃焼街道(土岐市) H10.7
モンデウス飛騨谷山(宮村) H10.11
夢さんさん谷汲(谷汲村) H11.3
クレール平田(平田町) H12.1
きりら坂下(坂下町) H12.3
富有柿の里いとぬき(糸貫町) H12.4
ななもり清見(清見村) H12.5
馬瀬美輝の里(馬瀬村) H12.

・JR線交通量調査 (S0年調査)
交通量(台/日) 156,431
踏切で1053時間/日
(H9年調査)
交通量(台/日) 239,686 (53.2%増)

・中部国際空港(株)の設立(10年4月)
5月、公有水面埋立て及び飛行場設置の手續(11年8月)
・中部国際空港連絡鉄道(株)の設立 (11年6月)
・中部国際空港の着工(12年8月)

人と自然の共生

森林や河川環境の保全をはじめ人と自然との共生を目指して自然環境の保全と創造対策を進めています。

豊かな自然の保全・創造

県民の声
本県は森林面積が全国第5位の森林王国だが、山林労働者の不足により森林の管理・保全等が懸念されている。そこで「草刈十字軍」の本県版のような組織を設置し希望者を募っていくとよいのではないか。
(H元年 萩原町 40代 男性)

せせらぎ渓谷県立自然公園 8年4月、清見村・馬瀬村・天生県立自然公園(10年4月、河合村・白川村)・御嶽山県立自然公園(11年4月、小坂町・朝日村・高根村)を新たに指定
自然公園区域の拡大
S63 16箇所 187,850ha
H11 19箇所 194,967ha
ふるさと環境保全基金(4億円)を設置
(2年3月)

野生生物が生息可能な自然環境の保全を行う「自然環境保全整備事業着工」
(7年度)
自然の実体験や自然の楽しさ・大切さを展示紹介する「エコミュージアム関ヶ原」がオープン
(10年4月)

入館者数
H11 14,258人
人と自然との豊かなふれあいの場を整備し自然学習・自然体験の場を提供する「緑のダイヤモンド計画」(9~12年度、上宝村)を推進
人と自然、人と人とのふれあいによる森林型ニュー・リゾート基地「グリーンフロント推進事業」を実施し、都市と山村の交流拠点等を整備
(5~10年度、上石津町・付知町・板取村・清見村)

県民の声
公共工事に積極的に緑化木が使用されているので完成後がきれい
(福岡町 30代 男性)
自然環境保全としての生活環境保全林の整備が高く評価できる
(高山市 70代 男性)

河川環境の保全

昨今の河川は両岸がコンクリートでつくられているが昔のように自然をもちと残して整備できないものか。水草や水けけあしのある川そんな川で子供達は生物の生態を知り学んでいくのではないか。
(H6年 瑞浪市 50代 女性)

「みのかも健康の森」(7年4月、美濃加茂市)をはじめ、生活環境保全林の整備を推進
・かさばら湖見の森(2年6月、笠原町)、大正村明智の森(3年6月、明智町)、下呂湯けむりの森(3年6月、下呂町)、日本ラインうめまの森(4年4月、各務原市)、月見の森(5年8月、南濃町)、いび高原さかづちの森(5年9月、坂内村)、可児やすらぎの森(8年11月、可児市)、めいほう高原音楽の森(9年7月、明宝村)、釜ヶ谷雨乞いの森(10年11月、伊自良村)、洗心の森(11年9月、国府町)、みやまの森(11年10月、美山町)、せせらぎ街道・四季の郷(11年11月、清見村)、蘭丸ふるりの森(12年4月、兼山町)、城山さへらの森(12年5月、揖斐川町)、ながら川ふれあいの森(12年11月、岐阜市)

岐阜県森林愛護隊を結成し活動を開始
・登録者数 (5年10月) 115人(H5年7月現在) 585人(H12年5月現在)
県内に生息する希少猛禽類保護のため「岐阜県ワシタカ力環境レンジャー」を設置(11年9月)
・設置数 204人(12年10月)
・鳥獣保護区の設定面積 S63 11箇所 57,749ha
H11 124箇所 68,514ha

「花の都ぎふ」運動の普及・展開
未来の岐阜県の夢づくりとして県民総ぐるみで花いっぱい運動を実施する。主要道路、公園等での季節に応じた美化運動を提案します。また花づくりコンクール大会を実施する。県全体を花で埋め、美しい街づくり。
(H元年 可児市 50代 男性)

「花の都ぎふ」運動の普及・展開
・「花の都ぎふ」推進本部を発足(2年11月)、「花の都ぎふ」運動を展開
・「花の都ぎふ」運動推進協議会設立(3年1月)
・(財)花の都ぎふ推進センター設置(3年4月)
・花のアドバイザー設置(3年10月)
・道端30cm運動の推進(9年度)

花の都ぎふ

県民総参加により「花の都ぎふ」運動を推進し、花にみちた魅力ある地域づくりを進めています。

「花の都ぎふ」運動の普及・展開
未来の岐阜県の夢づくりとして県民総ぐるみで花いっぱい運動を実施する。主要道路、公園等での季節に応じた美化運動を提案します。また花づくりコンクール大会を実施する。県全体を花で埋め、美しい街づくり。
(H元年 可児市 50代 男性)

「花の都ぎふ」運動の普及・展開
・「花の都ぎふ」推進本部を発足(2年11月)、「花の都ぎふ」運動を展開
・「花の都ぎふ」運動推進協議会設立(3年1月)
・(財)花の都ぎふ推進センター設置(3年4月)
・花のアドバイザー設置(3年10月)
・道端30cm運動の推進(9年度)

道の賑わいを創出(12年6月)平成11年度、国、県、市町村事業における県内の水辺のピクトピア化事業の施行事例227事例をマップにして公表
・自然共生型川づくりを推進
・長良川大鷲砂防ダム魚道完成(7年8月、高鷲村)
・吉田川の魚道整備に着手(8年9月、八幡町)
・大安寺川多自然型川づくり竣工(10年5月、各務原市)
・民間企業の参加公募による自然共生型川づくり研究(12年4月、新境川(笠松町・川島町)全県水辺のピクトピア化の推進
・平成11年度、全ての河川改修事業実施箇所において、自然共生型川づくりの理念に基づく改修を実施
・ピクトピア化のモデル事業として清水川の河川環境整備を実施し、県魚「鮎」の放流など親水性あふれる空間づくりにより、「アクティブG」とともに岐阜駅周辺(大垣市 40代 男性)

岐阜圏域

環境と自然の共生

産業振興 研究開発 テーマパーク 農業

木曾川右岸流域下水道幹線管渠全線完成(9年3月)
全県域下水道化構想の推進
生活環境保全林の整備推進
・日本ラインうめまの森(4年4月、各務原市)、釜ヶ谷雨乞いの森(10年11月、伊自良村)、みやまの森(11年10月、美山町)、ながら川ふれあいの森(12年11月、岐阜市)
河川環境楽園(世界淡水魚園)「自然共生研究センター(建設省)」(10年11月、川島町)
自然共生型川づくり事業の推進
・大安寺川多自然型川づくり竣工(10年5月、各務原市)
・自然共生工法展示場が完成(12年4月、新境川(笠松町・川島町)インフィオラータ(花びら絵まつり)の開催(10年3月、岐阜市)

ホテルグランヴェール岐山「ポテンシャル」(10年6月、岐阜市)
河川環境楽園「ギフ・ベスト川島島」(11年7月、川島町)
ワールドデザインシティ・GIFU「アクティブG」(12年7月、岐阜市)オープン
テクノプラザ本館(科学技術振興センター・VRセンター合築)竣工(10年11月、各務原市)、テクノプラザの用地分譲開始(10年2月)、アネックス・テクノ2オープン(12年12月)
「世界イベント村ぎふ」の開村(7年9月、岐阜市)
・岐阜メモリアルセンター全面オープン(3年4月)
・長良川球場で39年ぶりのプロ野球公式戦開催
・長良川スポーツプラザ(5年7月)、県民文化ホール未来会館(6年11月)、長良川国際会議場(7年9月)、岐阜ルネッサンスホテル(7年7月)

【県民の声】世界イベント村の開村により地域に活力を感じる
(岐阜市 60代 男性)
国営木曾三川公園三派川地区の中核的公園施設「河川環境楽園(世界淡水魚園)」の整備推進(11年7月第一期開園、川島町)
・建設省「木曾川水園」工事着手(9年1月)、「自然共生研究センター」(10年11月)、ハイウェイオアシス(11年7月オープン)、東海北陸自動車道川島PAオープン(10年12月)
県下各地域にニュー・リゾート施設など新たな交流施設がオープン(市町村を支援)
・かかみがはら航空宇宙博物館(8年3月、各務原市)
ぎふ中部未来博(63年度、岐阜市)、ウエルカム21ぎふ等のイベントを展開
・ワールドミュージック&ライトフェスティバル(3年度、岐阜市)
・ハロー・ジャパン・ハロー・21・インぎふ&WECスーパーウィーク(12年8月、岐阜市)
・GIFUストリートカーニバル2000(12年9-10月、岐阜市) など

生活安全対策
岐阜県防災交流センター(11年6月供用開始、岐阜市)
【県民の声】災害緊急時対策として整備された岐阜県防災交流センターは、バックアップ体制の強化につながる安心な施設となった
(岐阜市 50代 女性)
各務原交通管制サブセンター(5年2月)を新設

県民の声

3年前に他県から引っ越してきましたが、道路などに花が多くとてもよい気分です
(岐阜市 30代 女性)
花の都ぎふ運動により花飾りの意識が定着してきた
(多治見市 60代 男性)

「花の都ぎふ」の開催(7年4~6月、40日間)等により、花の都ぎふ運動を普及
・第1回「花の都ぎふ」花かざりコンクール(4年4月)
・ジャパンフラワーフェスティバル(7年3月)
・全国花のまちづくりシンポジウム岐阜大会(7年5月)
・GIFU FLOWER FESTIVAL(9年)

道端30センチ運動の進捗状況

	H9年度	H11年度
実施地区数	97	118
実施延長(km)	200.5	183.7

花飾りコンクールの実績(応募状況)

	H4	H11
市町村	42	46
個人	64	345
団体	79	129
企業	21	94
計	206	614

福祉 まちづくり

特別養護老人ホーム県立寿楽苑の新築移転(6年4月、岐阜市)
【県民の声】県立寿楽苑で介護体験学習ができた(岐阜市 50代 女性)
公立では全国初の岐阜県音楽療法研究所を設置(6年4月、岐阜市)
岐阜県産産事業振興センター(8年4月、岐阜市)、視覚障害者生活情報センターぎふ(点字図書館)(9年4月、岐阜市)の開設
子ども家庭支援センターの開設(10年10月、日本児童育成会、岐阜市)
東西総合医療情報センターを設置(5年4月、岐阜市)
岐阜県健康科学センター(保健環境研究所と岐阜地域保健所の合同庁舎)のオープン(12年1月、各務原市)
県立看護大学の開学(12年4月、羽島市)

【県民の声】四年制の看護大学の設置は念願だった(美濃加茂市 40代 女性)
県立岐阜病院等の機能拡充
・再整備基本計画(11年度)、基本設計着手(12年度) など
・県立岐阜訪問看護ステーションを羽島保健所内に設置(8年4月、羽島市)
【県民の声】県立岐阜病院の救命救急センターは、心臓・血液の病気で全国でも5本の指に入る救命率になった(岐阜市 60代 男性)
サニーハイツ花かいどうモデル住宅の展示(7-8年度、岐阜市)など福祉住宅の整備を推進
・県営北方住宅南ブロック建設工事の完成(12年3月、北方町)

教育 生涯学習 スポーツ

単位制高校の設置 各務原西高校、華陽高校(8年4月)
総合学科の設置 岐阜総合学園高校(9年4月)
岐阜大学地域科学部(8年10月)、岐阜聖徳学園大学大学院国際文化研究科(10年4月)、岐阜女子大学観光文化学科(11年4月)等開設
放送大学ビデオ学習センター(3年10月、岐阜市)、岐阜県生涯学習センター(6年4月、岐阜市)、岐阜県ボランティアセンター(6年4月、岐阜市)、ぎふNPOセンター(12年10月)を設置
「世界文化村ぎふ」開村(10年11月、岐阜市)
・県民ふれあい会館サランカホール(6年4月)・県図書館・世界分図センター(7年7月)

【県民の声】ふれあい会館ができたことにより、いろいろな生涯学習講座に参加できるようになった(巣南町 40代 女性)
岐阜県グリーンスタジアム(人工芝競技場、12年7月、各務原市)
東海環状自動車道(関-養老)整備計画決定(9年2月)
岐阜南部横断ハイウェイが地域高規格道路の計画路線に指定(6年12月)
渋滞解消、交通事故が大幅に減少
・岐南インター交差点付近(岐南町 国道21号)
交通事故件数 S63 87件 H10 65件
死傷者数 S63 26人 H10 12人(半数以下)
・渋滞長 工事前最長で900m(通過9分)西進方向 工事後全ての方向で渋滞なし
【県民の声】岐南インター周辺が整備され、交通事故が減った
(岐南町 30代 女性)
交流ふれあいトンネル「馬坂トンネル」の開通(9年11月、高富-美山町)
JR岐阜駅周辺鉄道高架事業が完了(11年度、岐阜市)
・JR岐阜駅舎の開業(9年3月)
名鉄高架事業新規着工準備(11年度)

交通 情報 通信

花の名所づくり・花街道の整備

ストレスのたまりやすいこの時代、ゆとりの時間に、季節の花でいっぱい公園やドライブする道路があったらどんなにか素敵だろうと思います。地域的に花いっぱい公園・花いっぱい道路を作ってほしい。

（H元年 笠原町 40代 女性）
せせらぎ街道、裏木曾街道をはじめ花街道を整備

（元年度）
・花街道整備状況（12年3月末）52街道（約1,584km）
・県管理道路の77%を整備
（1,584km/2,070km）
・全県花街道モデル事業（元4年度）、全県花街道事業（5年度）



淡墨街道 (エドヒガンザクラ)



花フェスタ記念公園

産業振興

激化する国内・国外競争に勝ち残るため、産業の高付加価値化を柱とする産業構造改革を進めています。

景気対策の実施

景気回復を下支えし、その足取りをより確かなものとするため、平成4年度から全国に先駆け「地域経済対策」を実施
社会資本の整備を促進しつつ、地域経済への波及効果が大きい公共投資を積極的に実施するとともに、県内中小企業の経営の安定化・合理化・近代化や新産業の育成に向け、中小企業金融対策を大幅に拡充
県制度として全国初の特定不況業種に対する無担保貸付を実施（11年3月）、県下全農業協同組合及び岐阜県信用農業協同組合連合会を信用保証協会の保証対象金融機関に指定（10年10月）

公共投資予算額及び中小企業制度融資貸付金融資目標額の推移

・全国に先駆けて県下全農業協同組合及び岐阜県信用農業協同組合連合会を融資制度の取扱金融機関に指定（11年4月）

地場産業の振興

県内各地の村おこし産品を一堂に集め展示即売する常設の県産品センターを作る
（H元年 岐南町 40代 男性）

・岐阜県名産販売(株)の設立（9年9月）など地場産業の情報力・企画力・技術力・販売力の強化を支援
・「ラビロク本木」「ギフ・ベスト」（9年10月）、「ホテルグランヴェール岐阜」「ポテンシャル」（10年6月、岐阜市）、「河川環境楽園」「ギフ・ベスト川島店」（11年7月、川島町）開設、
「ワールドデザインシティ・GIFU」アクティブG（12年7月、岐阜市）オープン



ワールドデザインシティGIFU「アクティブG」

県産品販売額の推移

岐阜県名産販売(株)の設立(H9)を契機に販売額が拡大

21世紀の森へ向けて県民運動を展開

（7年度）、花の森名所づくり整備事業（8年度）を推進
可児公園（花トピア）が、花フェスタ記念公園として再オープン（8年4月）
・英国王立バラ協会と（財）花の都ぎふ花と緑の推進センターとの提携（10年9月）

（12年度）
開
県民の声
フラワーロード事業は大変よい他の県にはあまりないことです（岐阜市 50代 男性）
こぶし街道など、同じ花木で道路を飾ることは大変よい（美濃市 50代 女性）

整備状況 (花の森名所づくり)

世界のファッション工房GIFU

おしゃれ写真コンテスト（3年度）、国際学生ファッションコンテスト（5年度）など

・イタリアのドムスアカデミーなど世界の主要なデザイン拠点との積極的な連携により、県内企業の商品企画力やデザイン力を国際水準まで高め、本県を世界レベルのデザイン拠点とするため、ワールドデザインフォーラム構想を推進（9年度）
・美濃テクノパーク第1期分譲が完了（4年10月、美濃市）
・第2期分譲開始（8年2月）、関テクノハイランド造成工事着手（10年9月、関市）
（仮称）中濃広域物流拠点（道路一体型広域物流拠点モデル事業）に地区が採択（6年11月、関市）
・中濃広域物流拠点推進連絡協議会設立（11年10月）

西濃圏域

高度情報基地ぎふづくりの中核拠点「ソフトピアジャパン」（大垣市）の整備推進
・ソフトピアジャパンセンター（8年6月）、ソフトピアジャパン・アネックス（10年2月）、ソフトピアジャパン・ドリーム・コア（国際インキュベーションセンター、全国マルチメディア専門研修センター）（12年8月）
・国際情報科学芸術アカデミーの開校（8年4月、大垣市）、情報科学芸術大学院大学（13年度開学予定）
【県民の声】国際インキュベーションセンターを利用しています。ソフトピアジャパンプロジェクトやテクノプラザなど岐阜県のIT関連の事業推進支援に感謝しております（岐阜市 40代 男性）
心のテーマパーク養老天命反転地オープン（7年10月）
岐阜県さばう遊学館・羽根谷だんだん公園オープン（6年6月、南濃町）
県下各地域にニュー・リゾート施設など新たな交流施設がオープン（市町村を支援）
・健康広場（マラソンミュージアム）（12年4月、揖斐川町）
ウエルカム21ぎふ等のイベントを展開
・決戦関ヶ原大垣博（12年3～10月、大垣市）
・関ヶ原合戦400年祭（12年10月）など
【県民の声】天命反転地ができ、身近に娯楽と自然に共に楽しむことができる（養老町 30代 男性）
大垣博で、西濃の知名度が上がった（池田町 40代 女性）
ほぼ20年にわたる「高須輪中総合整備事業」が完成（11年11月）し、3,000haに及び食料供給基地が完成
【県民の声】高須輪中総合整備事業の完成で水田が乾田化し、農業が汎用化した（海津町 60代 男性）

産業振興 研究開発 テーマパーク 農林業

生活安全対策

長良川河口堰の本格運用開始（7年5月）
河口堰整備の具体的な効果
・H11年の9.15豪雨による出水において、浸漉前に比べ墨俣地点で約1.1mの水位低下があり、警戒水位を超えた時間が20時間から9時間に短縮
マウンド浸漉土砂の有効活用
・南濃町志津と養老町有尾にまたがる約70haの県営ほ場事業に、長良川河口堰連運のマウンド浸漉土砂約150万立方メートルを受け入れることにより、浸漉工事の促進に貢献
・また大量の土砂が無償で確保できたことにより、ほ場整備事業としても大幅なコスト削減と地区全体の地盤を約2m高上げることができ、排水不良の沼田が大規模汎用農地に生まれ変わり、大型機械による低コスト農業を可能にした
【県民の声】長良川河口堰が完成し、治水対策が強化され、災害の心配も少なくなった（海津町 60代 男性）
治水ダム等の建設促進
・徳山ダム（11年度末工事進捗率71%、藤橋村）
【県民の声】永年の夢であった徳山ダムの起工式を迎えることができ7年後には完成すること。治水・治水に大きな効果が期待でき、永い間尽力されてきた方々に感謝します（大垣市 70代 男性）
大垣交通管制サブセンター（2年3月）を新設

身体障害者療護施設「西濃サンホーム」の開所（12年10月、揖斐川町）
【県民の声】福祉施設が増えたため利用者が選択できてよい。サービスがよくなった（池田町 50代 女性）
県と民間企業の共同出資による重度障害者多数雇用事業所「(株)サンシング東海」設立（5年5月、大野町）
ソフトピアジャパンセンター内に福祉メディアステーションを設置（8年4月、大垣市）
テレビ電話を通じて在宅患者に診療・指導・看護指示を行う遠隔医療推進モデル事業を実施（9年度、揖斐郡4村・大垣市）
【県民の声】へき地、過疎地の診療所への医師の常駐等により安心して生活できる（藤橋村 60代 男性）
福祉施設へのアクセス道路等を整備するため福祉道路特別対策事業を創設（8年度）
一般県道南波大垣線の事例
・一般県道南波大垣線は、西南濃地域では初の福祉道路整備路線で、大垣市設置の知的障害者通所授産施設「大垣市立かわなみ作業所」及び、知的障害者更正施設「大垣市柿の木荘」を対象施設として、平成8年度に事業に着手。（1工区・H9年度完成）

国際情報科学芸術アカデミー（8年4月開校、大垣市）
・情報科学芸術大学院大学（13年度開学予定）
大垣女子短期大学マンガコース（8年4月）開設
養老パークゴルフ場（2年7月、養老町）
大垣市武道館（10年6月、大垣市）

東海環状自動車道（関-養老）整備計画決定（9年2月）（養老-北勢）新規着工準備（10年度）
岐阜南部横断ハイウェイ（各務原-大垣）が地域高規格道路の計画路線に指定（6年12月）
交流ふれあいトンネル「岩坂トンネル」の開通（10年4月、谷汲村）
・谷汲村の岩坂峠の走行性が向上 距離 4.2km 所要時間 15分 3分
・気象に左右されない安全な道路を確保（積雪による事故や大雨による土砂崩れから解放）
揖斐地区広域農道整備事業で東ノ山トンネルが完成（8年度）したことにより谷汲村から大垣市への所要時間が大幅に短縮。（谷汲-大垣 60分 45分）
・大垣市民病院への救急車の搬送や谷汲山華厳寺や横蔵寺への観光アクセスが向上
田園地域マルチメディアモデル整備事業（11～13年度、坂内村）

全県域下水道化構想の推進
【県民の声】下水道が整備され快適になった（海津町 40代 女性）
自然の実験や自然の楽しさ・大切さを展示紹介する「エコミュージアム関ヶ原」オープン（10年4月）
人と自然、人と人とのふれあいによる森林型ニュー・リゾート基地「グリーンフロント推進事業」を実施し、都市と山村の交流拠点等を整備（上石津町）
生活環境保全林の整備推進
・月見の森（5年8月、南濃町）、いび高原さかうちの森（5年9月、坂内村）、城山さくらの森（12年5月、揖斐川町）
桜の名所大津谷で砂防環境整備が完成（11年12月、池田町）

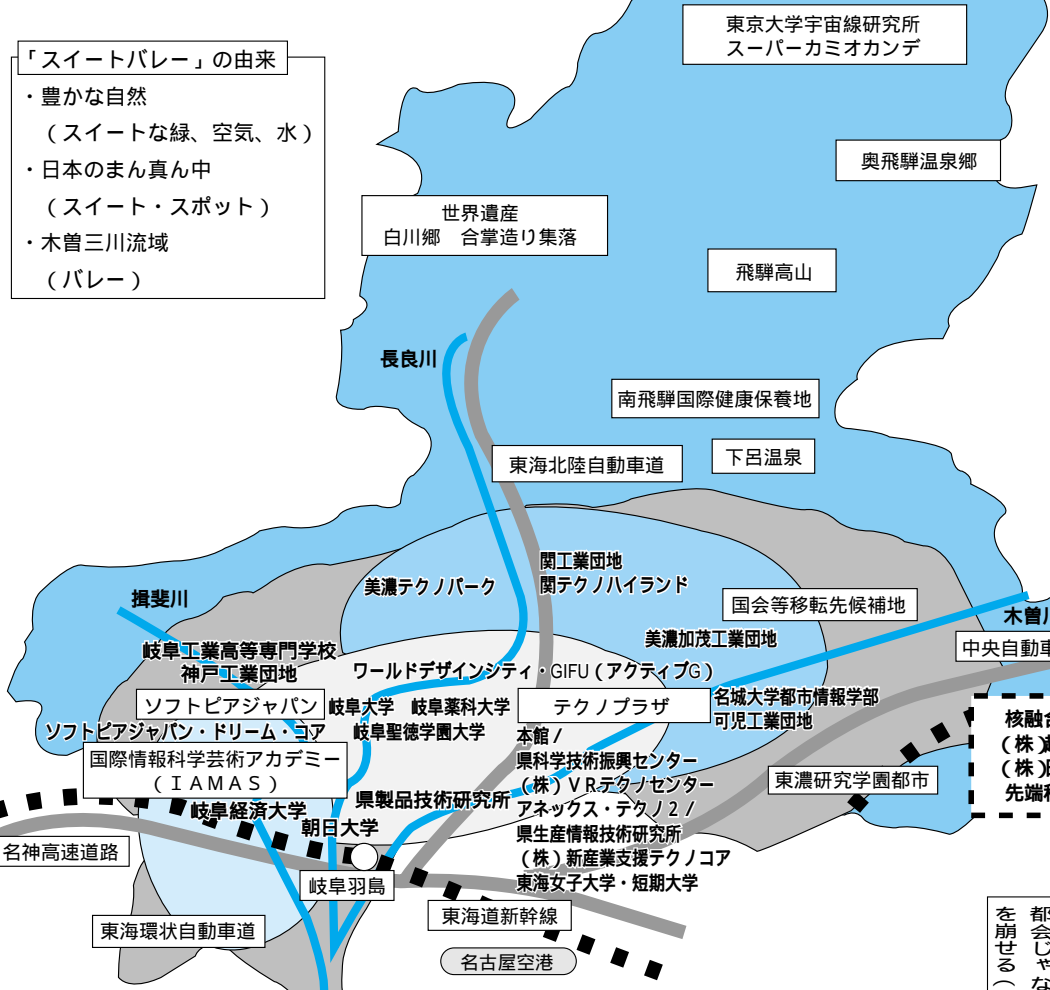
福祉 まちづくり

教育 生涯学習 文化 スポーツ

交通体系 情報 通信

環境 水道 人と自然の共生 花の都ぎふ

IT関連産業の一大集積地「スイートバレー」



ソフトピアジャパン、テクノプラザなど、情報通信、マルチメディア分野の研究開発拠点、ハイテク産業、教育機関、商業複合施設が集積する木曾三川流域を中心とした地域を「スイートバレー」と位置づけ、情報関連ビジネスを一層集積

ソフトピアジャパン、テクノプラザなど、情報通信、マルチメディア分野の研究開発拠点、ハイテク産業、教育機関、商業複合施設が集積する木曾三川流域を中心とした地域を「スイートバレー」と位置づけ、情報関連ビジネスを一層集積

新産業の育成

国際会議場 エレクトロニクス展示場、見本市などを開催できるコンベンションの機能を有するセンターを核に、ハイテク産業の企業誘致を図れる用地を確保し、情報コネクト基地とする。また各種イベントが開催できる広場を設け、人・物・金の流入を図る。(H元年 大垣市 50代 男性)



ソフトピアジャパン

ソフトピアジャパンセンター(8年6月、大垣市)、ソフトピアジャパン・アネックス(10年2月)、ソフトピアジャパン・ドリーム・コア(国際インキュベーターセンター、全国マルチメディア専門研修センター)(12年8月)

国際情報科学芸術アカデミーの開校(8年4月、大垣市)、情報科学芸術大学院大学(13年度開学予定) テクノプラザ本館(科学技術振興センター・VRテクノセンター合築)竣工(10年11月、各務原市)、テクノプラザ用地分譲の開始(10年2月)、アネックス・テクノ2オープン(12年12月)

「スイートバレー」の由来
・豊かな自然(スイートな緑、空気、水)
・日本のまん真ん中(スイート・スポット)
・木曾三川流域(バレー)

国際インキュベーターセンターを利用しています。ソフトピアジャパンプロジェクトやテクノプラザなど岐阜県のIT関連の事業推進支援に感謝しております(岐阜市 40代 男性)
ソフトピアジャパンができ、映画等のCG制作で有名になったことで、東京にいかなくても仕事ができることを証明した。若い人の「大会社じゃないとダメ」という考えを崩せる(古川町 30代 女性)



テクノプラザ

岐阜県の情報サービス産業
事業所数、従業員数、売上高ともに増加。伸び率は全国平均を上回る。

Table with 3 columns: 1987年(X), 1998年(Y), Y/X. Rows include 岐阜県, 全 国, 事業所数, 従業員数, 売上高(百万円).

資料：通商産業省「特定サービス産業実態調査報告書 情報サービス業編」

Table showing graduation status of IAMAS students (H12年4月未現在). Columns: 進路, H10年3月卒, H11年3月卒, H12年3月卒. Rows: 卒業生, 就職, ベンチャー, 進学, 独立・フリーランス.

Table showing employment status of Software Japan (H12年6月1日現在). Columns: 就労者数, 内 訳. Rows: 民間分譲地, センタービル, アネックス・大垣市情報工房, ドリーム・コア, 合計.

Table showing employment status of Techno Plaza (H12年6月1日現在). Columns: 就労者数, 内 訳. Rows: 民間分譲地, テクノプラザ本館, 合計.

福祉 まちづくり

福祉系四年制大学への助成を行い中部学院大学(人間福祉学部)が開校(9年4月、関市)
【県民の声】デイサービスセンターができて動けない老人も週1回連れてってもらいお風呂や食事など気分転換になると喜ばれている(武儀町 40代 女性)
救命救急センター(中濃)の運用開始(12年8月、関市)
【県民の声】中濃病院が新しくなり救命救急センターが開設されたことで、24時間いつでも医療への対応がしてもらえるようになった(美濃市 30代 男性)

教育 生涯学習 文化 スポーツ

総合学科の設置 郡上高校(9年4月)
【県民の声】学校評議員制の導入により地域との関わりができてきた(富加町 50代 女性)
森林文化アカデミーの開校準備(13年度開校予定、美濃市)
名城大学都市情報学部の設置(7年4月、可児市)
【県民の声】担任を2人制にしたりと、心のケアのできる相談員など教育現場のニーズに合わせて人員配置が進んでいることは良いこと(美濃市 50代 女性)

交通体系 情報 通信

東海北陸自動車道：美並IC(6年3月)、郡上八幡IC(8年4月)、白鳥IC(9年11月)、高鷲IC(11年11月)
中部縦貫自動車道：油坂トンネル(11年4月、白鳥町)、白鳥西IC-白鳥東IC間(11年11月)
東海環状自動車道：富加・関IC付近で工事着手(8年11月)、(関-養老)整備計画決定(9年2月)
濃飛横断自動車道が地域高規格道路の計画路線に指定(6年12月)
交流ふれあいトンネル「しぐら坂トンネル」の開通(10年2月、関市)
【県民の声】関・金山線の道路整備により、30分くらいで金山に行けるようになった(武儀町 40代 女性)

環境 水 人と自然の共生 花の都ぎふ

可茂衛生施設利用組合「ささゆりクリーンパーク」を「地球環境村」第1号に指定(11年1月)、施設オープン(11年4月、可児市)
【県民の声】ささゆりクリーンパークを見学し、家族と共に環境について考えるようになった。野焼きが少なくなってきた。(美濃加茂市 30代 女性)
木曾川右岸流域下水道幹線管渠全線完成(9年3月)
全県域下水道構想の推進
【県民の声】下水道の整備に着手され、水環境の浄化が進むのはありがたい(和良村 60代 女性)

産業振興 研究開発 テマパーク 農林業

人と自然、人と人とのふれあいによる森林型ニュー・リゾート基地「グリーンフロント推進事業」を実施し、都市と山村の交流拠点等を整備(板取村)
生活環境保全林の整備推進
・みのかも健康の森(7年4月、美濃加茂市)、可児やすらぎの森(8年11月、可児市)、めいほう高原音楽の森(9年7月、明宝村)、蘭丸ふるりの森(12年4月、兼山町)
【県民の声】やすらぎの森ができ、大人も子どもも楽しんでいます(可児市 60代 男性)
自然共生型川づくり事業を推進
・大鷲砂防ダム魚道完成(7年8月、高鷲村)
・吉田川の魚道整備に着手(8年9月、八幡町)
「花フェスタ'95ぎふ」の開催(7年4-6月、40日間、可児市)
・可児公園(元年4月、当初オープン)、花フェスタ記念公園の開園(再オープン)(8年4月、可児市)
【県民の声】花フェスタは、近県の方から好評でした(岐南町 30代 女性)
美濃テクノパーク第1期分譲完了(4年10月、美濃市)・第2期分譲開始(8年2月-)、
関テクノハイランド造成工事着手(10年9月-)、関市)
(仮称)中濃広域物流拠点(道路一体型広域物流拠点モデル事業)に関地区が採択(6年11月)
・中濃広域物流拠点推進連絡協議会設立(11年10月、関市)
(財)岐阜県国際バイオ研究所の設立(7年11月、御嵩町)
・生物・産学・技術研究所の設立(10年4月)
花フェスタ記念公園-「花フェスタ'95ぎふ」一周年を記念し再整備し開園(8年4月、可児市)
・英国王立バラ協会との友好提携調印(10年9月)
平成記念公園の工事着手(9年2月、美濃加茂市)
県下各地域にニュー・リゾート施設など新たな交流施設がオープン(市町村を支援)
・古今伝授の里フィールドミュージアム(5年7月、大和町)、入道の丘(6年8月、八百津町)、美濃和紙の里(6年10月、美濃市)、日本最古の石博物館(七宗町 8年4月)、日本まん真ん中センター(美並村 9年4月)、郡上八幡楽藝館(11年6月、八幡町)
花フェスタ'95の開催(7年度、可児市)
ウエルカム21ぎふ等のイベントを展開
・森の公園「フォレストパーク中濃」(12年5月、板取村)
・花の公園フェスティバル2000(12年5月、可児市)
・水の公園「アクアパーク郡上」(12年8月、美並村他)など
【県民の声】今年はウエルカム21など各地でイベントが行われ、活気にあふれている。今後もイベント等で岐阜県が盛り上がり欲しい(明宝村 20代 女性)
関防災サブ指令センターの設置(9年4月供用開始)
治水ダム等の建設促進
・新丸山ダム(11年度末工事進捗率17%、御嵩町・八百津町)
地域防災対策総合治山(9年3月、和良村など)、水源地域森林総合整備(9年3月、板取村など)
・山神地すべり対策の完成(5年3月、土岐市)
可茂用水道第3次拡張事業(6年度-)、可茂用水道の調整池建設(5年度-)

中濃圏域

生活安全対策

中小企業の支援

現在マルチメディア関連の様々なベンチャー企業が誕生している。殊にインターネットビジネスが急成長を遂げ地域経済に及ぼす影響も大きい。しかし、これらの多くは資金調達面で問題を抱えているため、資金面における助成制度について検討したどうか。

ベンチャーキャピタル投資基金(7年度)など中小企業や新産業の育成に必要な資金需要を支援するため、ベンチャー企業等支援資金(6年度)、健康福祉支援資金(8年度)、産業観光支援資金(10年度)などを創設

ソフトピアジャパン、VRテクノジャパンのインキュベーター

研究開発

「研究開発立県」を目指して、「研究ネットワーク都市・アークさぶ」構想を進めています。

東濃研究学園都市構想の推進

今後の社会はソフト、ハードの開発に携わる人間が非常に多く必要になるであろうとされており、その下地を造るために科学的な知識を普及するとともに、物を造り考える力を養うために、科学・電子・自然教室などを開催し、今後の発展への人的基礎を造る。

極限環境をテーマにした先端的研究機関の集積を推進

核融合科学研究所(土岐市) 大型ヘリカル装置による実験開始 (10年4月)

(株)超高温材料研究所(多治見市) 運用開始 (4年4月)

(株)日本無重量総合研究所(土岐市) 落下実験施設の運用開始 (7年2月)



サイエンスワールド(岐阜県先端科学技術体験センター)

県民の声 県内18試験研究機関を統括する科学技術振興センターを設置(8年4月)するなど研究開発立県を推進 (6年10月、(財)岐阜県研究開発財団)

県民の声 不況の中、懸命の企業努力がされていますが、国際的な競争力を国力として持つためには21世紀型産業の育成が不可欠。産官学が一体となった研究開発を強力にすすめるべきであると思えます。(H8年 養老町 50代 男性)

研究開発支援の推進

東濃地震科学研究所(瑞浪市) 開所 (9年4月) 超深地層研究所(瑞浪市) 地表からの調査(千m級の試錘など)による研究を開始 (8年度)

土岐プラズマ・リサーチパーク第一土地区画整理事業着手 (10年3月)

サイエンスワールド(岐阜県先端科学技術体験センター)開館 (11年7月 瑞浪市)

地域との関わり 超高温材料研究センターの試験設備が県内企業に利用され、試験データの収集、材料開発に貢献

県民の声 瑞浪市のサイエンスワールドができて勉強になる (山岡町 30代 男性)

交流産業の振興

県民の声 県内各市町村をめぐり知る工夫がほしい。各市町村の特色ある取組みや文化活動の一面なども訪ね味わえるモデルコースを作って、心ある団体が順々に交流し、訪れ合う風景を夢みている。(H元年 御嵩町 60代 男性)

県民の声 県の補助を得て、商店街活性化事業を実施することができた (明智町 40代 男性)

事業として各町村に1,000万円を交付(6、7年度)、ニュー・リゾートビッグキャンペーン交付金事業(8、9年度)、補助金事業(10、11年度)

岐阜滋賀観光全国大宣伝事業(TAP)6、8年度、「秀吉」キャラ(4年度)、「秀吉」キャラベン(7、8年度)の実施 ウエルカム21さぶイベントへの参加と県内の様々な体験型観光資源を結びつけた観光キャンペーン「ミレニウム2000」

エルカム21さぶ飛騨美濃体験博」を展開(12年度)、同補助金事業 (12年度) 観光地ランキング 「首都圏消費者調査」 最も行きたい都道府県 17位 (H10年8月、日経産業消費研究所調査) 「観光地人気度調査」 行って良かった観光地 (都道府県別) 17位 (H10年1月、同)

ベンチャー企業の育成(開業数) 起業家育成支援事業の受講者のうち開業した数

(注)開業数...新規に事業を開始した個人の数

国際パイオ研究所(7年1月、御嵩町)設立 (社)つくば・けいはんな岐阜県情報センター設置(元年9月、6年10月、11年3月解散、事務を(財)岐阜県研究開発財団へ移管)

共同研究の成果 県セラミックス技術研究所と文部省核融合科学研究所が共同でマイクロ波による陶磁器の焼成技術を開発し、陶磁器産業の技術向上に貢献 (12年9月)

ロボットの活用に向け、産学官協同による「岐阜県ロボットプロジェクト連絡会議」を設置 (12年9月)

県民の声 東京大学宇宙線研究所神岡宇宙素粒子研究施設に「スーパーカミオカンデ」完成(7年11月、神岡町)観測開始(8年4月) 東北大学の宇宙素粒子観測施設「カムランド」が完成 (12年9月、神岡町)

県民の声 産業技術関係機関の指導により製品が向上してきた (瑞浪市 60代 男性)

観光客数

観光客数表

S63は「さぶ中部未来博」が開催

岐阜県の特許出願件数の推移

身体障害者療護施設「県立サニーヒルズみずなみ」(3年4月、瑞浪市)ファミリー・サポート・センターの開設(12年4月、多治見市)に対する県単独助成実施

子ども家庭支援センターの開設(11年10月、妻の穂学園、中津川市)

県立病院等の機能を拡充 県立多治見病院新東棟(救命救急センター)完成(2年10月)

総合学科の設置 土岐紅陵高校(9年4月)

県民の声 課外授業の実施で地域や社会との関わりが増えきた。広い視野、社会性を学びながら、将来自らボランティア的な行動ができることを期待したい(多治見市 50代 女性)

歌舞伎ホールを備える東濃東部の文化・スポーツ拠点「東濃ふれあいセンター」の整備を支援(12年5月開館、中津川市)

山村地域で育まれた伝統文化をテーマに「緑の伝統文化大学」を開催 地歌舞伎(7年10月、加子母村) スケート場(恵那市、16年度完成予定)

県民の声 岩村町の古い街並みが伝統建造物群保存地域に県下で3番目の指定を受け観光来訪者が増えつつあります(岩村町 70代 男性)

東海環状自動車道:土岐JCT付近で工事に着手(8年11月) 濃飛横断自動車道が地域高規格道路の計画路線に指定(6年12月) 道の駅・土岐美濃焼街道(どんぶり会館)の整備(10年7月、土岐市)

県民の声 国道19号の2車線化と内津峠のバイパス化により愛知県への移動が便利になったため、小牧市への通勤も可能と判断し、引越してきました(山岡町 30代 男性) 国道257号のバイパス整備により、市街地の生活道路が前より安全になった(付知町 60代 男性)

I-Cカードシステムモデル事業(9年度、多治見市)

全県域下水道化構想の推進

県民の声 岩村町にも下水道が整備され快適な生活が送れるようになった(岩村町 70代 男性)

人と自然、人と人とのふれあいによる森林型ニュー・リゾート基地「グリーンフロント推進事業」を実施し、都市と山村の交流拠点等を整備(付知町) 生活環境保全林の整備推進 かささは潮見の森(2年6月、笠原町)、大正村明智の森(3年6月、明智町)

福祉 まちづくり

教育 生涯学習 スポーツ

交通 情報

環境 水 人と自然の共生 花の都さぶ

産業振興 研究開発 テーマパーク 農業

生活安全対策

首都機能移転の推進

東濃圏域

中津川テクノパークの完成(3年3月、中津川市) 極限環境をテーマにした先端的研究機関を集積した「東濃研究学園都市構想」を推進

県民の声 瑞浪市のサイエンスワールドは素晴らしい施設です(瑞浪市 50代 男性) 産業技術関係機関の指導により製品が向上してきた(瑞浪市 60代 男性)

セラミックパークMINO(通称オリベスクエア)の整備推進(14年秋オープン予定、多治見市) 県下各地域にニュー・リゾート施設など新たな交流施設がオープン(市町村を支援)

県民の声 隣の中津川市にできた東濃ふれあいセンターを見学したが、とても立派な歌舞伎ホールがありうれしかった。有名な役者を招いて大いにアピールして欲しい(坂下町 30代 女性)

「岐阜・愛知地域」への首都機能移転の推進 国会等移転審議会が、首都機能移転候補地として、岐阜東濃地域(東濃美濃)と愛知東西三河北部地域からなる「岐阜・愛知地域」と「栃木・福島地域」を答申(11年12月)

テーマパーク

心のテーマパークを県内各地に整備するとともに、イベント・コンベンションを推進し、豊かで楽しい岐阜県づくりを進めています。

特色あるテーマパークの整備

県民の声
プロ野球公式戦が岐阜市では行われていない。オープン戦のみ行われて公式戦が全くないのでは田舎都市のイメージは免れない。そこで岐阜のイメージアップと球場設備の改善のため、公式戦の誘致を行う。

(H元年 岐阜市 30代 男性)
全県イベント・コンベンションランド化の中核拠点「世界イベント村ぎふ」が開村

(7年9月、岐阜市)
岐阜メモリアルセンター全面オープン(3年4月)、長良川球場で3年ぶりのプロ野球公式戦を開催

・長良川スポーツプラザ (5年7月)
・県民文化ホール未来会館 (6年11月)
・長良川国際会議場 (7年9月)
・岐阜ルネッサンスホテル (7年7月)

建設省「木曾川水園」工事着手(9年1月)、ハイウェイオアシス(11年7月)オープン

「自然共生研究センター」開設(10年11月)

東海北陸自動車道川島PA(10年12月)

利用者数 416万人 (12年10月現在)

飛騨地域の活性化拠点「飛騨・世界生活文化センター」(愛称：飛騨センター)の整備推進(13年度オープン予定、高山市)

セラミックパークMENO(通称オリベスクエア)の整備推進(14年秋オープン予定、多治見市)

心のテーマパーク「養老天竜反転地」がオープン (7年10月)

利用者数 105万人 (12年10月現在)

県下各地域に「リゾート施設」など新たな交流施設がオープン (市町村を支援)

古今伝授の里フィールドミュージアム (5年7月、大和町)

人道の丘 (6年8月、八百津町)

美濃和紙の里 (6年10月、美濃市)

かがみがはら航空宇宙博物館 (8年3月、各務原市)

日本最古の石博物館 (8年4月、七宗町)

日本まん真ん中センター (9年4月、美並村)

土岐美濃焼街道とぶらり会館 (10年7月、土岐市)

郡上八幡楽藝館 (11年6月、八幡町)

健康広場(マリンミュージアム) (12年4月、揖斐川町)

東美濃ふれあいセンター (12年5月、中津川市)

魅力あるイベントの展開

県民の声
日本のど真ん中岐阜の地に、あらゆる手段でイベント・コンベンションを誘致・開催させよう。近年岐阜の地で世界イベント村、ソフトジャパンなど施設の整備・充足は著しく、いくつかの国際シンポジウムが開催され好評を得ている。経済への波及効果も大きく期待でき、都市活性化にもつながる。(H8年 岐阜市 60代 男)

ぎふ中部未来博(63年度、岐阜市)を契機に県内各地でイベント・コンベンションを展開

ワールドミュージック&ライトフェスティバル(3年度、岐阜市)

花フェスタ95(7年度、可児市)

味フェスタ95(7年度、高山市・下呂町)など

県民の声
メモリアルセンターを中心に全国的なスポーツ大会の開催が活発になった。(羽島市 30代 男性)

花フェスタ記念公園の施設はともい、また、イベント期間中は住民総出で道路などを花飾りして見事でした。(土岐市 40代 女性)

メモリアルセンターの利用状況
利用率：利用日数/稼働日数

	H4	H5	H6	H7
来場者数(千人)	1,094	1,222	1,420	1,171
利用率(%)	53.9	55.2	56.3	57.8

	H8	H9	H10	H11
来場者数(千人)	1,090	1,080	1,190	1,142
利用率(%)	62.7	60.2	61.8	61.2

未来会館の利用状況

	H7	H8	H9	H10	H11
使用人数(人)	176,778	206,567	219,515	197,974	151,799

花フェスタ記念公園入場者数 単位：人

	H8年度	H9年度	H10年度	H11年度	合計
入場者数	311,574	312,914	324,065	344,664	1,293,217
増減率		0.4%増	3.6%増	6.4%増	

ニュー・リゾート推進事業整備施設の入込み客状況(H11年)

・人気の高い施設

施設名	入込み客数
NEO桜交流ランド(淡墨温泉)	164千人
日本昭和音楽村	67
グリーンセラ池田温泉	365
屋内温泉プールゆーみんく	135
白山文化博物館	27
明宝温泉湯屋館	217
どんぶり会館	537
クリソルト湯舟沢	280
大正ロマン館	89
馬瀬川温泉美輝の里	211

県民の声
チューリップ祭やトピアスロなど多くのイベントが開催され町に活気がある

(海津町 40代 女性)

今年がウエルカム21など各地でイベントが行われ活気にあふれている。今後ともイベントなどで岐阜県が盛り上がりつつある。



世界イベント村ぎふ

花フェスタ記念公園が「花フェスタ95ぎふ」一周年を記念し再整備して開園(8年4月、可児市)

平成記念公園の工事着手

(9年2月、美濃加茂市)

国営木曾三川公園三派川地区の中核的公園施設「河川環境楽園(世界淡水魚園)」を整備

(11年7月第一期開園、川島町)

・世界淡水魚園(県営公園)工事着手(10年2月)、第三タワー(株)オアシスパーク設立(10年10月)

みんなで一緒に21世紀の岐阜県づくり

ウエルカム21ぎふとは?
「ふるさとぎふ 回顧と展望」をテーマに、今世紀の成果を21世紀につなぎ発展させるとともに、210万県民一人ひとりが新しい時代・21世紀の地域づくりの担い手として新たに出発するため、2000年を節目の年として位置づけ開催。

ウエルカム21ぎふイベントシリーズ
飛騨美濃合併120周年の1996年から2000年までの5年間で「ウエルカム21ぎふ期間」として21世紀への助走期間と位置づけ、様々なイベント「ウエルカム21ぎふイベントシリーズ」を展開してきました。

ミレニアム2000ウエルカム21ぎふ
2000年の1年間を通じて1600を超えるイベントを集積し、全県を舞台に展開。21世紀型の新しいイベント開催を目指し、5つの「シンボルイベント」をはじめ、各圏域・市町村が自主自発の熱意で開催する「5圏域イベント」で構成。

シンボルイベント
12.1. -12.2. オープンイベント「ふるさとぎふライブトーク」
県下5圏域で丸開催

12.7.29-12.8.27 「子ども未来博2000」 岐阜市：県民文化ホール未来会館
12.8.19-12.8.27 寛高スーパーショー「ハロー・ジャパン・ハロー・21・インぎふ」& 「WECスーパーウィーク」岐阜市：世界イベント村ぎふ(WEC)



寛高スーパーショー「ハロー・ジャパン・ハロー・21・インぎふ」

- 5圏域メインイベント
- 12.2.11-12.2.14 飛騨圏域飛騨地区メインイベント「冬の飛騨民俗文化・雪と氷の祭典」(高山市・朝日村・河合村他)
 - 12.3.25-12.10.9 西濃圏域メインイベント「決戦関ヶ原大垣博」(大垣市：大垣公園一帯)
 - 12.5.3-12.5.4 中濃圏域中濃地区メインイベント「森の公園フォレストパーク中濃」(板取村：21世紀の森公園)
 - 12.5.13-12.5.14 中濃圏域可茂地区メインイベント「花の公園フェスティバル2000」(可児市：花フェスタ記念公園)
 - 12.5.26-12.5.28 東濃圏域メインイベント「東濃カブキまつり2000・食と器の祭典2000」(中津川市：東美濃ふれあいセンター)
 - 12.8.5-12.8.6 中濃圏域郡上地区メインイベント「水の公園アクアパーク郡上」(美並村：日本まん真ん中センター)
 - 12.10.7-12.10.15 西濃圏域メインイベント「関ヶ原合戦400年祭」(大垣市・関ヶ原町・垂井町・上石津町・墨俣町)
 - 12.10.8-12.10.9 岐阜圏域メインイベント「GIFUファッションウォーク2000」(岐阜市中心市街地)
 - 12.10.28-12.10.29 飛騨圏域益田地区メインイベント「元気の里・南飛騨ゆーわく健康フェア」(下呂町及び周辺町村)

福祉 まちづくり

特別養護老人ホーム県立飛騨寿楽苑(老人障害予防センター併設)が開所(12年10月<老人障害予防センターは13年度>、古川町)

【県民の声】県立飛騨寿楽苑の全面改築で誰もが安心して暮らしている(高山市 70代 男性)

総合リハビリテーションセンター「りはとびあ(仮称)」のマスタープランの策定調査(9年度、下呂町)、用地買収完了(10年度)

身体障害者療護施設の整備推進

- ・(国府町)13年10月開所予定
- ・南飛騨国際健康保養地構想を推進
- ・総合健康増進センター(仮称)の整備(12年度整備施設基本構想等策定、萩原町)
- ・ヒューマンルネッサンスコーポレーションと総合プロデュース契約を締結(10年10月)
- ・健康美容産業メッセの開催(9年9月・10年9月・11年9月)、いきいき健康フェアと同時開催
- ・南飛騨国際健康保養地健康美容食材生産促進協議会発足(10年6月)
- ・南飛騨国際健康保養地推進会議設置(11年10月)
- ・南飛騨国際健康保養地推進地域協議会設置(11年11月)

県立病院等の機能を拡充

- ・県立下呂温泉病院に東洋医学科設置(2年4月)、東西医学ヘルスドック開始(4年7月~)

【県民の声】下呂温泉病院の診療科目、医療機械・器具が充実され、その上若い熱意のある先生が在勤されるので安心して生活できる(下呂町 70代 男性)

教育 生涯学習 文化 スポーツ

総合学科の設置 飛騨神岡高校(9年4月)

【県民の声】児童生徒が学校だけでなく地域へ出て学習している。地域の達人、先人達と学ぶ場ができて大変よいと思う(高山市 60代 女性)

山村地域で育まれた伝統文化をテーマに「緑の伝統文化大学」を開催

- ・和紙(8年6月、河合村)、伝統食(9年10月、清見村)
- 白川郷・五箇山の合掌造り集落が世界文化遺産に登録(7年12月)
- ・(財)世界遺産白川郷合掌造り保存財団設立(9年3月)
- スキージャンプ台(6年8月、朝日村)、ラグビー場(7年11月、古川町)、飛騨高山ビッグアリーナ(12年4月、高山市)
- ・第51回国民体育大会冬季大会スキー競技会「ぎふスズラン国体」(8年2月)を開催

【県民の声】白川郷が世界文化遺産に登録され大変よかった(岐阜市 60代 男性)

高山市にビッグアリーナが建設され、飛騨のスポーツ拠点が出来た(古川町 30代 女性)

交通体系 情報 通信

東海北陸自動車道：荘川IC(11年11月)、飛騨清見IC(12年10月)

中部縦貫自動車道：安房トンネルの開通(9年12月、上宝村)

富山高山連絡道路や小松白川連絡道路などが地域高規格道路の計画路線に指定(6年12月)

- ・濃飛横断自動車道金山・下呂間事業着手(9年度)
- 交流ふれあいトンネル「湯峰トンネル」の開通(12年6月、古川町・河合村)

大規模林道高山・大山線の「飛越トンネル」が完成し、「飛越高原天の夕顔の道」として両県を結ぶ新たなルートに。

環境 水と自然の共生 環下人と自然の花の都ぎふ

産業振興 研究開発 テーマパーク 農林業

生活安全対策

【県民の声】高速交通体系の整備により、生活道路と幹線道路の棲み分けが進み安全になった(高山市 30代 女性)

国道360号宮川村小豆沢・細入村蟹間が本年(H12年)8月以降冬季間も通行できるようになり便利になった(宮川村 30代 男性)

飛騨エアパーク(ヘリポート・農道離着陸場)供用開始(7年6月、丹生川村)

ICカードシステムモデル事業(9-11年度、益田郡)

田園地域マルチメディアモデル整備事業(9-12年度 国府町)

屋外広告物景観モデル地区に高山市新宮町を指定(10年2月)

全県域下水道化構想の推進

【県民の声】高山市内に下水道が次第に整備され市内の小川などに水質の改善が見られる(高山市 60代 男性)

せせらぎ渓谷県立自然公園(8年4月、清見村・馬瀬村)、

天生県立自然公園(10年4月、河合村・白川村)、

御嶽山県立自然公園(11年4月、小坂町・朝日村・高根村)を新たに指定人と自然との豊かなふれあいの場を整備し自然学習・自然体験の場を提供する「緑のダイヤモンド計画」(9-12年度、上宝村)を推進

人と自然、人と人とのふれあいによる森林型ニュー・リゾート基地「グリーンフロント推進事業」を実施し、都市と山村の交流拠点等を整備(清見村)

生活環境保全林の整備推進

- ・下呂湯けむりの森(3年6月、下呂町)、洗心の森(11年9月、国府町)、せせらぎ街道・四季の郷(11年11月、清見村)

【県民の声】自然環境保全としての生活環境保全林の整備は高く評価できる(高山市 70代 男性)

東京大学宇宙線研究所神岡宇宙粒子研究施設に「スーパーカミオカンデ」完成(7年11月、神岡町)、観測開始(8年4月)

東北大学の宇宙粒子観測施設「カムランド」が完成(12年9月、神岡町)

飛騨地域活性化拠点「飛騨・世界生活文化センター(愛称：飛騨センター)」の整備推進(13年度 オープン予定、高山市)

ウエルカム21ぎふ等イベント・コンベンションを展開

- ・味フェスタ95ぎふ(7年度、高山市・下呂町)、
- 飛騨美濃合併120周年記念式典(8年8月、高山市)、
- 地域伝統芸能全国フェスティバル(10年度、高山市・下呂町)など
- ・冬の飛騨民俗文化・雪と氷の祭典(12年2月、高山市・朝日村・河合村ほか)
- ・元気の里 南飛騨ゆーわく健康フェア(12年10月、下呂町ほか)

治水ダム等の建設促進

- ・大ヶ洞ダム(11年3月、萩原町)

【県民の声】萩原町の宮田・大ヶ洞・奥田洞地区は平成11年の大ヶ洞ダムの完成により、上・下水道が全戸に普及しました。ありがたい日々を送っています。(萩原町 60代 女性)

石原地区緊急地すべり対策の完成(2年5月、宮村)

飛騨圏域

